

「iV ポケット」を搭載し、別売の着脱可能な HDD 「iVDR-S」を使って、  
 手軽に録画を楽しめる  
 地上・BS・110度CS デジタルハイビジョンテレビ「<sup>ウー</sup>Woo」2機種を発売



株式会社日立製作所コンシューマ事業グループ（グループ長&CEO：江幡 誠／以下、日立）は、別売の着脱可能な HDD 「iVDR-S」(\*1)を用いることにより、手軽に録画が楽しめる「iV ポケット」を搭載した薄型テレビ「<sup>ウー</sup>Woo」2機種をラインアップに追加し、9月中旬から順次発売します。

日立は今回 HDD を内蔵せず、別売の着脱可能な HDD 「iVDR-S」を使って番組録画ができる「iV ポケット」を搭載した機種を追加することにより、「録画ができるテレビ」のラインアップを強化し、新しいテレビの視聴スタイルを幅広くお客様に提案します。

L37-X01 は、「フル HD IPS  $\alpha$  パネル」(\*2)(\*3)採用の 37V 型地上・BS・110 度 CS デジタルハイビジョン液晶テレビです。「iV ポケット」を搭載し、別売の着脱可能な HDD 「iVDR-S」を利用することで、デジタルハイビジョン放送をそのままの画質で録画できるほか、24 コマ/秒で製作された映画フィルム映像を、日立独自の動き補間アルゴリズムにより、コマとコマとの間の映像を作り出して 60 コマ/秒に変換する「なめらかシネマ」機能を搭載し、自然な動きを再現します。

P42-HV01 は「1080 ALIS パネル」(\*4)を採用し、「iV ポケット」搭載により別売の「iVDR-S」を使ってデジタルハイビジョン放送を録画できる 42V 型地上・BS・110 度 CS デジタルハイビジョンプラズマテレビです。42V 型では業界最高クラス(\*5)の高輝度  $1500\text{cd}/\text{m}^2$ (\*6)と、10000:1(\*7)の高コントラストを実現し、美しい階調や鮮明な表現を可能とするとともに、プラズマならではの優れた動画解像度で動きの速いスポーツなどの映像も鮮明に楽しむことができます。

#### ■ 型式、価格および発売日

##### 地上・BS・110度CS デジタルハイビジョン プラズマテレビ・液晶テレビ

方式	画面サイズ	表示画素数 (水平×垂直)	iV ポケット	型式	発売日	本体希望 小売価格	当初月産台数
液晶	37V 型	1920×1080	○	L37-X01	9 月中旬	オープン価格	5,000 台/月
プラズマ	42V 型	1024×1080	○	P42-HV01	10 月下旬	オープン価格	5,000 台/月

## ■ 開発背景と意図

日立は、2003年10月にハイビジョン HDD レコーダー内蔵のプラズマテレビを発売して以来、「録画ができるテレビ」の使いやすさの進化を追求し、お客様から幅広い支持を得ています。2007年春には、世界で初めて「iVDR-S」を内蔵し、さらに着脱可能な HDD「iVDR-S」(別売)に対応した「**Woo**<sup>ワー</sup>」シリーズを発売し、「録画ができるテレビ」をさらに進化させ、テレビの楽しみ方を広げました。

今回 HDD を内蔵せず、別売の着脱可能な「iVDR-S」を使って番組録画ができる「iV ポケット」搭載の新機種追加により、すでに発売した XR01、HR01 シリーズで「iVDR-S」に録画した映像を別の部屋で2台目のテレビとして楽しむことができます。日立は今後も「iV ポケット」搭載機種の拡大を図り、手軽に録画機能を楽しんでいただけるテレビの新しい視聴スタイルを提案していきます。

※「Woo」は3つの「Wo～」を意味しています。(Wonder—驚きがある。World standard—世界の新しい基準である。Worthwhile—高い価値がある。)

(\*1) : 「iVDR」は、「iVDR 技術規格」に準拠することを表す商標です。(Information Versatile Disk for Removable usage) iVDR 規格は、2002年3月に iVDR コンソーシアムが設立され、現在 49 社の参画企業が普及に向けて推進活動を行っており、今後さらなる対応機器の普及が期待されています。デジタル放送の録画には、著作権保護方式である「SAFIA」を搭載した HDD「iVDR-Secure」(iVDR-S)が必要です。

(\*2) : 水平 1920×垂直 1080 画素

(\*3) : 株式会社 IPS アルファテクノロジー (取締役社長 : 米内史明) 製

(\*4) : 富士通日立プラズマディスプレイ株式会社 (代表取締役社長 : 黒田重雄) 製

(\*5) : 2007年7月現在、日立調べ

(\*6) : 白ピーク、パネル単体

(\*7) : 暗所、パネル単体

■ 製品紹介ホームページ 「日立 Woo ワールドホームページ」 URL : <http://av.hitachi.co.jp/>

## ■ お客様からのお問い合わせ先およびカタログ請求先

お客様相談センター

電話 : 0120-3121-11 (フリーコール)

時間 : 9:00~17:30 (月~土)、9:00~17:00 (日・祝日) 【年末年始をのぞく】

## ＜新製品の主な特長＞

### ■別売の着脱可能なHDD「iVDR-S」(\*1)を使って録画を可能にする「iVポケット」搭載

#### 1. 著作権保護技術「SAFIA」(\*2)に対応した別売の着脱可能なHDD「iVDR-S」を使って、デジタルハイビジョン放送をそのままの画質で録画

別売の着脱可能で著作権保護技術に対応したHDD「iVDR-S」をテレビ本体の「iVポケット」に挿入することで、誰でも簡単にデジタル放送を録画(\*3)することができます(HDDは非内蔵)。また、家族一人一人が自分だけのディスクを持ったり、すでに発売したXR01、HR01シリーズで「iVDR-S」に録画した映像を別の部屋で再生する2台目のテレビとして利用するなど、「録画ができるテレビ」の楽しみ方の幅が広がります。

(\*1)：P.2(\*1)参照

(\*2)：SAFIAライセンスグループが提供するデジタルテレビやデジタルオーディオ等への著作権保護技術。(Security Architecture For Intelligent Attachment device)

(\*3)：コピー禁止の番組はのぞく。

#### 2. ハイビジョン画質で約2倍の録画時間を実現する「XCodeHD」を採用

HDトランスコード／トランスレート技術「XCodeHD」(\*4)の採用により、デジタルハイビジョン放送を無変換で録画するTSモードと比較して、160GBの「iVDR-S」では約2倍となる320GB相当(約32時間(\*5))、80GBの「iVDR-S」では160GB相当(約16時間(\*5))の長時間録画を実現しました。

(\*4)：カナダ(トロント)に本社を置くViXS Systems Inc.のHDトランスコード／トランスレートテクノロジー

(\*5)：TSEモードで録画時、HDD容量に換算した場合。また、番組により録画時間は短くなる場合があります。

#### 3. 余計な接続不要で、ボタンひとつですぐに録画可能

別売の着脱可能なHDD「iVDR-S」をテレビの「iVポケット」に差し込むだけで、外部レコーダーとのケーブル接続の手間や外部入力への切り替えなど面倒な操作なしに、リモコンのボタン1つで録画ができます。さらに、録画済み番組のサムネイル画面から気に入ったドラマなどを毎週予約できる「かんたん毎週録画」が可能です。

#### 4. ダブルデジタルチューナー搭載

地上・BS・110度CSデジタルチューナーを2系統搭載し、見たい番組が重なったときに、裏番組を別売の着脱可能なHDD「iVDR-S」にハイビジョン画質で録画をしながら、別のハイビジョン番組を視聴できます。

### ■高画質技術

#### 1. 映画フィルムの映像を自然に再現する「なめらかシネマ」機能搭載(L37-X01)

「なめらかシネマ」機能は、24コマ/秒の映画フィルムの映像を、日立独自の動き補間アルゴリズムにより、コマとコマとの間の映像を作り出し、60コマ/秒の映像に変換することで、自然でスムーズな動きを再現します。

#### 2. 「フルHD IPSαパネル」など、高画質パネルを採用

(1)「フルHD IPSαパネル」(L37-X01)

水平 1920×垂直 1080 画素を表示できる高精細の「フル HD IPS $\alpha$  パネル」を採用し、どこから見ても自然に見える広い視野角（上下左右 178 度）(\*6)と、高輝度 (500cd/m<sup>2</sup>)、高コントラスト (7000 : 1) (\*7)、を実現しました。

(\*6) : JEITA 規格準拠

(\*7) : セット本体で表示できる全白信号と全黒信号の輝度比として。

## (2) 「1080 ALIS パネル」 (P42-HV01)

デジタルハイビジョン放送の垂直方向の信号 (1080 画素) を画素変換せずに表示する「1080 ALIS パネル」を採用、42V 型では業界最高クラス(\*8)の高輝度 1500cd/m<sup>2</sup>(\*9)と 10000 : 1(\*10)の高コントラストを実現しました。(\*8) : 2007 年 7 月現在、日立調べ(\*9) : 白ピーク時、パネル単体(\*10) : 暗所、パネル単体

## 3. 早い動きもくっきり、優れた動画解像度

### (1) 動画解像度に優れたプラズマテレビ (P42-HV01)

動画解像度は、動画像において人の目で識別できる表示の細かさを定量的に表すために、提唱された測定方法です(\*11)。自発光で動画解像度に優れた「1080 ALIS パネル」の採用により、720 本以上の高い動画解像度を実現し、スポーツなどの動きの速い映像をくっきりと映し出します。

(\*11) : 次世代 PDP 開発センター (APDC) 測定方式

### (2) 「倍速 120 コマ」技術を搭載した液晶テレビ (L37-X01)

60 コマ/秒の放送信号を 2 倍の 120 コマ/秒に変換し、さらに、日立独自のスーパーインパルス表示技術により黒の画像データを挿入することで、輝度を低下させることなく動画ボヤケを大幅に改善、業界最高クラス(\*12)の動画解像度 600 本以上を達成しています。

(\*12) : 液晶テレビの動画解像度において。日立調べ。

## 4. フルハイビジョンや 1080p 信号に対応した画像処理エンジン「Picture Master Full HD」を搭載

日立独自の高画質画像処理エンジンをさらに向上させた「Picture Master Full HD」を採用、映像の解析・処理を高速化・高精細化することで、さらなる高画質化を実現しました。

### ・「アドバンスドダイナミックコントラスト」

映像シーンごとにヒストグラムを使った高度な画像認識処理を行い、特徴を細かく分析し、シーンごとに最適な制御を行うことで、コントラスト感のある階調表現を実現します。

### ・「3次元デジタルカラーマネージメント」

複数の指定色の色合い・色の濃さ・明るさを同時に調整し、パネルの性能を最大限に引き出す色彩コントロールにより、繊細な質感を美しく表現します。

### ・「ツインダイナミックエンハンサ」

映像シーンに応じて鮮鋭度をコントロールし、奥行き感やキレのある映像を表現します。

### ・「新ダイナミックバックライトコントロール」 (L37-X01 のみ)

映像シーンの輝度情報に応じてバックライトの明るさを制御し、メリハリの効いた鮮明な映像で楽しめます。

## ■ 使いやすさの向上

### 1. 「裏番組チェック」で、チャンネルを変えずに裏番組を確認可能

裏番組の電子番組表（EPG）の番組情報と子画面を、画面の下部に表示します。

### 2. 「かんたんセットアップ」で、画面を見ながら簡単に初期設定

初めて電源を入れたとき、ガイドに従って操作をするだけで、デジタル放送の視聴に必要な項目を簡単に設定できます。

### 3. リモコン操作で画面の向きを変えられる「リモートスイーベル」

リビングでの視聴など見る場所に合わせて、リモコンでテレビの向きが左右各 30 度変えられます。P42-HV01 は、スイーベルスタンドとスイーベルラックの 2 種類から選べます。(\*13)

(\*13) : L37-X01 の電動スイーベルスタンドは付属

商品名	型式	希望小売価格(税込)	発売時期
スイーベルスタンド	TP-4201WST (別売)	31,500 円	既発売
スイーベルラック	TB-PSR4271 (別売)	75,800 円	既発売

### 4. 1080p に対応した 3 系統の HDMI 端子を装備

1080p 信号に対応した HDMI 端子を L37-X01 は側面に 1 端子、背面に 2 端子、P42-HV01 は前面に 1 端子、背面に 2 端子装備しています。DVD プレーヤー/レコーダー、ゲーム機、PC など、将来の拡張性に対応します。

### 5. デジタル放送もすばやく起動する「クイックオン」

電源オン時の起動時間を大幅に短縮し、すばやくテレビが起動できます。

## ■ 省エネ設計と環境負荷の低減

### 1. 省エネ設計

(1) プラズマパネル、液晶パネルともに約 60,000 時間(\*14) の長寿命設計です。

(\*14) : プラズマはパネル輝度 40%到達までの目安時間、液晶はバックライト輝度半減までの目安時間、残像(焼き付き)・故障はのぞく。

(2) テレビの切り忘れなどに対応し、「無信号電源オフ」「無操作電源オフ」「ビデオパワーセーブ」の省エネ機能を搭載しています。

### 2. JIS 規格「J-Moss(\*15)」のグリーンマークに対応

本シリーズは、電気・電子機器に含まれる特定化学物質の含有表示について、日本工業規格(JIS)に制定された「J-Moss」に対応し、規制対象物質である「鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB(ポリブロモビフェニル)・PBDE(ポリブロモジフェニルエーテル)」の 6 物質の非含有(\*16)をあらわす「グリーンマーク」表示製品であり、環境負荷の低減を図っています。

(\*15) : J-Moss : 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法

(The marking for presence of the specific chemical substances for electrical and electronic equipment)

(\*16) : JIS C 0950 に規定する除外項目をのぞく。

### 3. 無鉛化パネルの採用

P42-HV01 は環境に配慮した無鉛化パネルを採用しています。

#### ■主な仕様

		37V 型液晶テレビ	42V 型プラズマテレビ
型式		L37-X01	P42-HV01
表示サイズ (幅×高さ、対角)		81.9×46.1cm、94.0cm	93.1×52.4cm、106.8cm
パネル		フルHD IPS α パネル	1080ALIS パネル
表示画素数(水平×垂直)		1920×1080	1024×1080
動画解像度		600 本以上	720 本以上
輝度(白ピーク、パネル単体)		500 cd/m <sup>2</sup>	1,500cd/m <sup>2</sup>
コントラスト(暗所、パネル単体)		7,000:1 *1	10,000 : 1
受信チャンネル		地上デジタル 000-999(CATV パススルー対応) BS デジタル 000-999 110 度CSデジタル 000-999(右旋円偏波) 地上アナログ VHF:1-12ch UHF:13-62ch CATV:C13-C63	
チューナー		地上・BS・110 度 CS デジタル×2、地上アナログ×2	
iV ポケット機能		○(HDD 非内蔵)	
実用最大音声出力 (JEITA)		10W+10W	
スピーカー		アンダースピーカー	
		(12×6cm)×2	(15×4.2cm)×2
サラウンド	TruSurround 5.1 *2	○	
	WOW *2	SRS-3D *2	○
		TruBass *2	○
		FOCUS *2	○
	BBE *2	○	
入出力端子	HDMI 入力端子(1080p 対応)	3	
	D4 入力端子	2	
	S2 ビデオ入力端子	2	
	ビデオ入力端子	3	
	モニター出力端子	1	
	サブウーハー出力端子	1	
	i.LINK 端子(DV 入力対応)	1	—
	光デジタル音声出力端子	1	
	電話回線接続端子	1	
	IR コントローラー端子	1	
	ヘッドホン出力端子	1	
LAN 端子	1		
SD/MMC メモリーカードスロット		1	
アンテナ入力端子		VHF/UHF 入力×1(アナログ・地上デジタル共通入力) BS/CS-IF 入力×1	
消費電力 (待機時)		194W (0.5W)	未定
年間消費電力量(スタンダード時)		194kWh/年	未定
本体外形寸法*3 (幅×高さ×奥行)		92.7×62.4×11.5cm	106.7×71.3×9.9cm (下部最大奥行 11.7cm)
本体質量		21.9kg	(29.6kg)
スリーベル対応		○(リモコン)	
スタンド		付属	別売

\*1 : セット本体で表示できる全白信号と全黒信号の輝度比として。

\*2 : TruSurround 5.1、WOW、SRS-3D、TruBass、FOCUS は SRS Labs, Inc の商標です。BBE は BBE Sound, Inc の商標です。

\*3 : 設置に際してはスタンド/ラック等が必要です。仕様は、予告無く変更することがあります。

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---